

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	○広島大学、広島経済大学
整理番号	B-6
事 業 名	CLMV 諸国の持続可能な平和、幸福、発展に貢献する研究力と社会起業力の融合人財育成

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div>	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
(コメント)	
<p>本プログラムは、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）を実現するため、カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム（CLMV）諸国の社会インフラ整備に貢献できる研究力と社会起業力を兼ね備えた人財育成を目指している。</p> <p>人財育成目標は明確であり、その基盤として、カンボジア及びミャンマーの教育省と協定を結び、カンボジア教育省内には「広島大学—カンボジア王国教育、青年、スポーツ省連携センター」を設置し、効果的な推進を図っていること、アジア太平洋大学交流機構単位互換制度に基づく単位互換や成績管理のシステムを構築していることなど、質の保証を伴う大学間交流の枠組みが整備されている。また、国内連携大学の広島経済大学とともに体系的な SDGs 関連の専門教育科目等を英語により開講し、教育のグローバル化を進めている。これにより、実現性の高い政策やビジネス企画等を立案する国際合同セミナー「PEACE-SDGs アイディア発掘型学生セミナー」を新たに日本及びカンボジアで開催し、社会起業力の育成を図るなど、人財育成が進められている。</p> <p>一方で、目標とする人財育成の進捗が芳しくなく、学生の派遣・受入ともに目標を下回っている。受入に関しては半数以上が単位取得型の3か月以上である点は評価できるものの、派遣は大部分が単位取得を伴わないものであり、より多くの日本人学生を長期派遣することが課題である。また、社会起業力の育成に向けたインターンシップの充実も求められる。今後は、短期の海外派遣プログラムから、中長期の海外派遣プログラムへの参加を促すなど、日本人学生の海外派遣を全学的に連携の上で推進していく体制を整えるなど、プログラムのより一層の改善が必要である。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p>	